

# 16 明るい未来への一歩

## 報告 教訓を活かした災害対策を！ 横浜市会議員 市来えみこ

能登半島地震から1年の市民が「避難所で避難が経過しました。本市も生活を送る際にトイレの延べ1600名超の職員設備が心配」と回答してを派遣するなどの支援をいます。

我が党は、はまっことイレ等に加え、水洗式で

まず、災害時のトイレ 個室も広くバリアフリー対策です。令和6年度実にも対応した快適なトイレ環境を提供できる災害アンケートでは、7割も用トイレトレーラーの重

要性を訴えてきました。

次に、食事の確保につ

本市では、一昨年5月に市内企業から寄贈を受けたトイレトレーラーを1台保有していますが、現在、石川県輪島市に派遣されているため、横浜が発災した場合、今は使えません。

「避難所での温かい食事が確保策も検討すべき」と訴え、市長より「避難生活での温かい食事は、避難者の健康や安心にもつながると考えています。地域防災拠点には炊き出しができる資機材を配備しており、民間団体などによる炊き出しの事例を参考にしながら、連携などの検討を進めてまいります」との答弁をいただきました。



い ち き  
市来えみこ

横浜市泉区生まれ(56歳)  
青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学  
大学院言語学部修了/米国パリーガル  
家族:娘、両親、愛犬

045-482-9201

ichiki.emiko.yokohama@gmail.com  
都筑区中川中央1-22-5 # 402

プロフィール  
【事務所】

得ました。

いただきました。